

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

						S D G s のゴール・ターゲットのマッピング																		
カテ ゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3 側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		境	環	会 社 経 済																				
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「1-1 人権尊重・差別待遇の禁止」を定めている。 ・内部通報制度(社内通報制度・外部第三者機関を利用した社外通報制度)を導入している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「1-2 ハラスメント(嫌がらせ)の禁止」を定めている。 ・内部通報制度(社内通報制度・外部第三者機関を利用した社外通報制度)を導入している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「2-1 適切な労働条件・労働時間」を定め、労働関係諸法令の遵守、労働協約や就業規則などに沿った適切な就業管理を実施している。 ・多様なライフイベント(妊娠、出産、育児、介護など)に応じた制度、各種休暇制度、フレックスタイム制、テレワーク制度などを設け、従業員のワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)の向上を目指している。								8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・「古河電工グループ人権方針」を定めている。 ・内部通報制度(社内通報制度・外部第三者機関を利用した社外通報制度)を導入している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・「安全衛生管理の基本方針」を定め、ゼロ災害とゼロ疾病を目指している。 ・「古河電工グループ安全衛生委員会」を設置している。 ・当社の安全担当執行役員が当社・グループ会社の現場を訪問し、対策の適切性や定着度の確認、本質安全化に向けた取り組みを推進している。 ・社内イベント冒頭、出席者全員による「ゼロ災への誓い」を唱和している。			3					8										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・「安全衛生管理の基本方針」を定め、ゼロ災害とゼロ疾病を目指している。 ・2002年度よりメンタルヘルス対策を開始。外部EAP(従業員支援プログラム)によるカウンセリングシステムの導入、メンタルヘルス教育の実施。 ・2016年度には法改正に伴うストレスチェック制度を導入、医師による相談も実施している。			3															
7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・経営理念で「多様な人材を活かし、創造的で活力あふれる企業グループの実現」を掲げている ・「ダイバーシティ推進室」を設置している。 ・2025年度女性活躍推進に関する目標（管理職層比率、係長級比率、大学卒採用者比率）を定めている。 ・特例子会社古河ニューリーフ(株)を2004年度に設立し、障がい者雇用の向上を目指している。 ・「くるみん認定」（経済産業省）の取得（2007年、2010年、2015年） ・「えるぼし認定」（厚生労働省）の取得 ・「なでしこ銘柄」（経済産業省・東京証券取引所）に選定（2018年、2020年）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・「古河電工グループ健康経営宣言」を制定し、経営的な視点から戦略的に従業員の健康管理・健康づくりに取り組む「健康経営」を推進している。 ・「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定 ・「健康経営銘柄」（経済産業省・東京証券取引所）に選定（2019年）			3					8										
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・「古河電工グループPeople Vision」を定め、当社グループの発展に貢献する、豊かな人間性を備えチャレンジ精神旺盛な人材育成に取り組んでいる。 ・階層別研修・教育を体系している。 ・個人の専門知識・技能を伸ばし、視野とネットワークを広げることを目的に、国内外の大学などへ社員を派遣している。 ・ものづくり現場の従業員を対象とした現場力研修を実施。				4				8	9									
10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	同一労働同一賃金の観点を踏まえて社内規程を改正し、非正規従業員への待遇のうち、正規従業員と同等の取扱が必要な事項について見直しを実施。								8.5		10.2 10.3								
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・1993年度に廃棄物の非再資源化物を削減する活動を開始。 ・2001年度からはゼロエミッション活動を、2014年度には有価物を含めた、廃棄物等総発生量を削減する活動を推進している。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・エネルギー使用比率の高い製造工程で省エネルギーに取り組み、生産工程の効率化、および高効率機器への更新、エネルギー収支を考慮した機器の高温部の断熱などの対策を実施している。 ・工場建屋の照明は計画的にLED化を推進している。							7.3						13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・2030年温室効果ガス削減目標に対して「SBT (Science Based Targets)認定」を取得。 ・温室効果ガス削減の取り組みでは、工場の省エネや燃料転換、太陽光発電の設置、購入電力の再生可能エネルギーへの切り替えを推進している。 ・2019年度から内部炭素価格（Internal carbon pricing）の試算を開始。事業部門ごとの炭素価格を見える化により、脱炭素化に向けて気候変動リスク回避への準備を促進。 ・「COOL CHOICE」（環境省）に賛同							7.2 7.3					12.4	13.3					

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

						S D G s のゴール・ターゲットのマッピング																	
カテ ゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3 側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	環	会 社 済 経																			
4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・アーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）に参加し、製品含有化学物質管理に関するJAMP管理対象物質リストの最新情報を元に、環境点検を実施。 ・主要な拠点およびグループ会社について製品含有化学物質管理体制を構築し、環境製品規制の強化および低減すべき環境リスクを把握し、その重要性に応じて対策を実施している。 ・当社製品に使用する購買品では、事業部門のグリーン調達ガイドラインに基づき、製品含有化学物質管理体制の構築や運営の状況を評価、製品含有化学物質のデータを確認し、適正なものを購入している。 有害化学物質の排出量削減を推進しており、特に、光化学スモッグの原因の一つとされる揮発性有機化合物(VOC)の排出量削減に自主的に取り組んでいます。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・環境基本方針に生物多様性保全への取り組みを加え、「古河電工グループ生物多様性保全ガイドライン」をもとに活動。 ・「企業と生物多様性イニシアティブ（IBIB）」に登録 ・絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「オキナグサ」の育成活動を開始（古河テクノリサーチ） ・地域社会貢献の取り組みとして、横浜事業所、平塚事業所および千葉事業所でオキナグサの育成活動を展開。						6.6								15			
	6 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・2013年度より水の有効利用を活動項目に挙げ、拠点ごとの水使用量・排水量を把握し、節水や循環利用に努めるとともに、水質および排水量を管理。 ・CDPウォーターの水資源管理に関する情報開示では、世界資源研究所（WRI）のAQUEDUCTを利用して、当社グループの主要な拠点について水リスクの洗い出しを実施。 ・毎年、水資源を含めたリスクアセスメントを実施し、BCM計画表に組み込み改善。 環境マネジメントの国際規格認証（ISO14001）の取得：生産に係る当社事業所 6 拠点（日光事業所、銅箔事業部門を含む）、国内グループ会社20社、海外グループ会社32社でISO14001を取得。（2020年9月時点）						6.4 6.6										
7	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	環境マネジメントの国際規格認証（ISO14001）の取得：生産に係る当社事業所 6 拠点（日光事業所、銅箔事業部門を含む）、国内グループ会社20社、海外グループ会社32社でISO14001を取得。（2020年9月時点）			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
8	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・ホームページ、統合報告書、サステナビリティブック等で環境情報を開示 ・「環境情報開示基盤整備事業」（環境省）への参加 ・CDP気候変動、CDPウォーターに回答 ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に賛同、TCFDコンソーシアムに入会し、気候リスクおよび機会に関する情報開示の強化。											12.6						
9	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・古河日光発電（株）は水力発電による電力の供給を行っており、日光事業所に電力を供給し、銅条製品は水力発電を利用して生産している。 ・太陽光発電の設置、購入電力の再生可能エネルギーへの切り替えを推進し、再生可能エネルギー利用の比率向上に取り組んでいる。 ・銅箔事業部門では、太陽光発電設備設置し、2019年2月より利用を開始している。						7.2					13						
0	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用												12.2	13	14	15			
1	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・日光事業所内の、パレット、廃棄物等のリサイクル率の上昇 ・銅箔事業部門、工場内発生屑リサイクル率向上						6.3				11.6	12 12.5	13	14	15			
2	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「7-1 贈収賄の禁止」を定めている ・「古河電工グループ贈収賄禁止基本方針」を制定し、「贈収賄防止ガイド」を発行。 ・競争法遵守および贈収賄禁止に関する社内セミナーを開催															16 16.5		
3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「6-1 競争制限的行為の禁止」を定めている ・競争法遵守および贈収賄禁止に関する社内セミナーを開催															16		
4	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「8-2 知的財産権の保護」「8-3 秘密情報の管理」を定めている ・社員への継続的な知的財産教育を実施 ・知的財産リスク低減の取組みを紹介する「IP Newsletter」の定期発行（日、英、中） ・知的財産リスク低減活動に対する社長表彰などの顕彰 ・海外グループ会社経営者との国別の知的財産リスク情報の共有 ・「知的財産報告書」を発行 ・「Derwent Top 100 グローバル・イノベーター」の受賞								8.2 8.3	9								
5	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・「古河電工グループCSR行動規範」にて、「8-4 個人情報の保護」を定めている ・GDPR（欧州一般データ保護規則）への対応は欧州子会社をはじめ、国内外関係会社の個人情報保護の対応。															16		
6	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	・当社およびグループ各社の主要製品を対象とした対象金属の使用状況調査を実施 ・RBAのコンフリクトフリー製錬所プログラムで認証を受けた製錬所からの調達を積極的に推進															16		
7	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・「パートナー様向け CSR推進ガイドライン」を策定 ・「グリーン調達ガイドライン」を策定 ・「古河電工グループ人権方針」を策定					5			8		10	12	13	14	15	16	17	

						S D G s のゴール・ターゲットのマッピング																	
カテ ゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3 側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	環	会 社 済 経																			
製品 ・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	○	基本	・当社製品の安全性の向上を図ると共に、製造物責任に関する問題に対処するため、古河電工グループ品質管理委員会の専門部会として製造物責任問題委員会を設置 ・製品に係わる製品安全活動およびPL防御活動の実行は、当該製品を取扱う事業部門および研究開発部門が行う。(ただしターゲット3.9とは合致しない) ・「古河電工グループ品質管理委員会」を設置			3.9								12.4					
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している				○	基本	・各事業部門の「部門品質管理委員会」が、製品・サービスおよび業務における継続的な品質の維持・向上を推進。 ・「品質管理の基本方針」を策定 ・「品質保証ガイドライン」の策定 ・ISO9001認証の取得								9								
製品 ・ サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○			○	応用	・ライフサイクルアセスメント（LCA）の活用により、主力製品のCO2排出量の「見える化」の算定結果に基づき、お客様の製品の使用段階で排出するCO ₂ 排出削減量の見える化に取り組んでいる。 ・環境調和製品を、製品のライフサイクル全体を、総合評価して環境負荷の低減に寄与する、または良い環境影響を与える製品（サービスも含む）と定義し、該当する製品には環境調和製品であることを表す環境マーク「eフレンドリー」マークを外装やカタログ上に表示し、アピールしている。						6					12	13	14	15		
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○		応用	・「古河電工グループ ビジョン2030」を策定し、ビジョン2030達成のために経営上の重要課題(マテリアリティ)の1つに「社会課題解決型事業の創出」を掲げ、取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
社会 貢献 ・ 地域 貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○		○	基本	・古河電工グループを取り巻くステークホルダーの1つに地域社会を設定 ・スポーツ・伝統行事への協力・共催、地域NPO法人の業務支援や協働、里山保全・環境保全の活動 など ・日光事業所では、例年8月に地域の皆様にも参加いただく日光和楽踊りを開催している。 ・銅箔事業部門、NPO法人を通じた知的障がい者への就労支援・ボランティア活動を実施している。				4				9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○		応用	・「古河電工グループ社会貢献基本方針」を制定し、「次世代育成」「スポーツ・文化振興」「自然環境・地域社会との共生」を軸とした活動を展開				4						11			14	15		17
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○		応用								8	9		11	12	13				
組織 体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している			○		基本	・毎年10～11月をコンプライアンス月間と定め、当社および各グループ会社でそれぞれのコンプライアンス課題に対応した取り組みを実施 ・基幹社員以上を対象に「コンプライアンス誓約書」を提出 ・コンプライアンス意識調査を隔年で継続的に実施 ・「CSR・コンプライアンス・ハンドブック」を社内共通教材として作成し、コンプライアンス教育、コンプライアンス月間、職場ミーティングなどで活用															16	
	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている				○	基本	・古河電工グループ理念（基本理念・経営理念）、Core Valueを定めている ・社内主要イベント冒頭、ゼロ災への誓いとともに、Core Valueの自問自答を全員唱和している							8	9								17
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている			○		応用	・毎年10～11月をコンプライアンス月間と定め、当社および各グループ会社でそれぞれのコンプライアンス課題に対応した取り組みを実施 ・基幹社員以上を対象に「コンプライアンス誓約書」を提出 ・内部通報制度（社内通報制度・外部第三者機関を利用した社外通報制度）を整備															16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている			○		応用	・担当役員（総務・CSR本部長）を責任者とする総務・CSR本部を設置 ・「CSR・リスクマネジメント委員会」を設置															16	
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている			○		応用	・「CSR・リスクマネジメント委員会」を設置し、当社グループのリスク管理、内部統制、コンプライアンス、社会貢献などの課題を審議し、監督・推進する体制をとっている															16	
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている			○		応用	・「古河電工グループCSR基本方針」「古河電工グループCSR行動規範」を制定している ・「CSR・リスクマネジメント委員会」を設置 ・「CSR・コンプライアンス・ハンドブック」を社内共通教材として作成し、職場ミーティングなどで活用															16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している			○	○	応用	・「古河電工グループCSR基本方針」において、全てのステークホルダーとの健全で良好な関係を維持・向上させ、社会の持続的な発展に貢献することを定めている ・機関投資家・証券アナリストを対象とした経営説明会の開催など ・個人投資家向け会社説明会など開催															16	17
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○		○	応用	・CSR・リスクマネジメント委員会の特別委員会として「中央防災・BCM推進委員会」を設置 ・「BCM(事業継続マネジメント)基本方針」を策定している ・本社（緊急対策本部）と事業所（被災地）の連携訓練を毎年実施 ・事業継続マネジメントシステム（BCMS）の国際規格であるISO22301の認証取得 「光半導体デバイス事業」（千葉事業所） 「銅線製品事業」（三重事業所） 「伸銅製品（オリジナル製品）事業」（日光事業所）									9		11		13 13.1			16
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている				○	応用	・指名・報酬委員会にて、CEOサクセッションプランを含む次世代経営人材育成に関する進捗状況を確認、経営人材候補の抽出・選定や育成プロセスの有効性等について議論。								8	9							17	

						S D G s のゴール・ターゲットのマッピング																	
カテ ゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	環	会			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		社	済	経																			

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】